

# なぜ急ぐのか 公立保育園の民営化

藤白台保育園  
笑顔いっぱいモクレンの会 会長  
佐々木 政布さん  
吹田市職員労働組合執行委員長  
丹羽野 和夫さん

## 民営化で「保育の質」が 下がらないか心配です

佐々木 政布さん

丹羽野 今回は吹田市立藤白台保育園にお子さんを預けていらつしやる佐々木政布さんをゲストにお迎えしました。吹田市が突然、市立保育園民営化の対象園名を発表しました。民営化される5つの保育園の中に、藤白台保育園も入っていたのですが、佐々木さんたち保護者にとっては寝耳に水の話でしたか？

佐々木 いいえ、公立保育園の民営化が議題に上りそうだしという情報は、早くからキャッチしていました。しかし、どの園かは、わからなかった。民営化以外にも、公立幼稚園と保育園が統廃合される、幼保一体化の話もあると聞いていました。

丹羽野 吹田市は、「維新プロジェクト」の一環で、行政サービスを削減しようと考えていますから、保育園の民営化と幼保一体化の両方を計画してきました。今回の案では今あ

る18園の中から、2016年に南保育園、17年に藤白台、吹田保育園、18年に岸部、西山田保育園が民営化される、ということになったのですが。

佐々木 わあー、当たってしもた(笑)って感じです。私たちは2年前から藤白台保育園を民営化してほしくない、と保護者の有志で反対する会を作っていたのです。

丹羽野 自主的に民営化と幼保一元化反対の会を結成されていたんですね。

佐々木 「笑顔いっぱいモクレンの会」と名付けて、藤白台保育園を公立のままで継続させてほしい、とチラシを作ったりして、学習交流会を行ったりしていました。ただ2年前から今まで、運動が今ひとつ盛り上がりなかつたんです。それは、「まさか藤白台保育園が民営化され

る3歳児は昨年まで13対1、つまり13人の子どもに保育士1人だったのが、一気に国基準の20対1へ。政府自身が、子ども子育て支援法の中で、「現行定数を改善して14対1が望ましい」と述べているのに、「時代に逆行する流れ」と言わざるを得ません。

### 株式会社が入ることで「利益第一」の運営が心配です

佐々木 吹田市では事業者が決まらなければ公募条件を見直すということもいつかあります。企業参入もありえるという事です。株式会社が参入すれば、「利益第一」になって

る2016年に南保育園、17年に藤白台、吹田保育園、18年に岸部、西山田保育園が民営化される、ということになったのですが。

丹羽野 保育園や学童保育などで吹田市は先進都市でした。公立保育園18園が地域の子育てセンターの役割をはたしてきましたし、公立・民間の保育園で子育てのネットワークをはりめぐらせてきたことで「子育てするなら吹田」というブランドもいただき、若い世代の人々が「吹田に住みたい」と引越してくるほどだったのです。ところが現市政になって、じわじわと吹田市独自の上乗せサービスが削られてきました。例えば、先ほどの配置基準、

丹羽野 保育園や学童保育などで吹田市は先進都市でした。公立保育園18園が地域の子育てセンターの役割をはたしてきましたし、公立・民間の保育園で子育てのネットワークをはりめぐらせてきたことで「子育てするなら吹田」というブランドもいただき、若い世代の人々が「吹田に住みたい」と引越してくるほどだったのです。ところが現市政になって、じわじわと吹田市独自の上乗せサービスが削られてきました。例えば、先ほどの配置基準、

丹羽野 保育園や学童保育などで吹田市は先進都市でした。公立保育園18園が地域の子育てセンターの役割をはたしてきましたし、公立・民間の保育園で子育てのネットワークをはりめぐらせてきたことで「子育てするなら吹田」というブランドもいただき、若い世代の人々が「吹田に住みたい」と引越してくるほどだったのです。ところが現市政になって、じわじわと吹田市独自の上乗せサービスが削られてきました。例えば、先ほどの配置基準、

丹羽野 保育園や学童保育などで吹田市は先進都市でした。公立保育園18園が地域の子育てセンターの役割をはたしてきましたし、公立・民間の保育園で子育てのネットワークをはりめぐらせてきたことで「子育てするなら吹田」というブランドもいただき、若い世代の人々が「吹田に住みたい」と引越してくるほどだったのです。ところが現市政になって、じわじわと吹田市独自の上乗せサービスが削られてきました。例えば、先ほどの配置基準、

丹羽野 保育園や学童保育などで吹田市は先進都市でした。公立保育園18園が地域の子育てセンターの役割をはたしてきましたし、公立・民間の保育園で子育てのネットワークをはりめぐらせてきたことで「子育てするなら吹田」というブランドもいただき、若い世代の人々が「吹田に住みたい」と引越してくるほどだったのです。ところが現市政になって、じわじわと吹田市独自の上乗せサービスが削られてきました。例えば、先ほどの配置基準、



吹田市が進めようとしている公立保育園の民営化計画

## 市長が「維新の会」の 元顧問で民営化の旗振り役として

丹羽野 和夫さん

